

№14 ミルクホルダーの活用



取り手付き丸形ほ乳瓶に対応するため鉄工所と共同作成したミルクホルダー。



牛も、
人も楽！

哺乳時の労働削減が図られている

№15 パドックの配合いれ



配合タンクから直接餌槽に餌が落ちる工夫。
タンクの飼料は餌会社が補充。
メリットは給餌の手間がかからなく、楽だが、
1頭当たりの給与量が解らないのが欠点。

№16 洗剤容器を再利用したハッチのスターター入れ



頭を入れて食べられる
開口広さを確保

洗剤の容器をくり抜いて
スターターのケースに再利用。
内側からビス留めをしており、雨が降
っても餌が濡れない。

№17 スターターバケツの雨よけ



スターターを入れているバケツの上に雨よけを設置

№18 柵に水飲みバケツを固定



柵に水飲みバケツ枠を作成、溶接して固定

牛がひっくり返したりせず、バケツ下もうまく掃除でき、日々の作業性がアップ。

№19 水槽への飼料混入軽減板設置



水槽両端を板で仕切って、飼槽から直接飲水への行動を防止。牛が一度バックしてから飲水することで、餌料の混入を軽減、水の鮮度維持に貢献。



No20 牛床マット利用で点滴らくらく保定

考案: 更別村 森田洋樹農場

牛床マット利用で しっかり保定できる保定台を紹介します。

原理: 牛床マットに牛を寝かせた状態でしっかり保定

ポイント:

もくしの要領で頭を固定し、腹部も2カ所で固定

【材料】<補修の部>

- ・牛床マット ポビレックスなど軽量の物が楽。
- ・バンドひも 調節具(ひもにあったバックル) 腹部2カ所 頭絡部
- ・金輪 頭絡部切り替え(背面参照)



【牛を右向きに寝かせる】



【背面】



【感想】

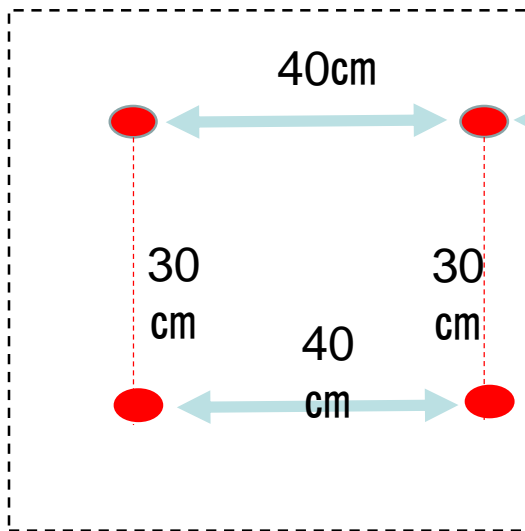
- ・しっかり頭が固定できるので、点滴の針が抜けない。
- ・軽量でハッチ内で利用可能
- ・足を縛らなくても良い
(牛も楽そうに見える)

№20 牛床マット利用で点滴らくらく保定(つづき)

ホルスタイン用保定サイズ(ロープ穴位置)

*ポイントは頭部サイズ(調節機能を持たせることが重要)

腹部固定



頭部固定

